

# 腎腫瘍に関する遺伝子解析

本学で実施しております以下の研究についてお知らせいたします。

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出ください。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

研究課題名	腎腫瘍に関する遺伝子解析
倫理審査 受付番号	第 倫比0273号
研究期間	2015年 6月倫理審査承認日～2023年 3月31日
研究対象情報の 取得期間	下記の期間に泌尿器科を受診された腎腫瘍の方 2006年 3月22日～2020年 3月31日
研究に用いる 試料・情報	試料等、カルテ情報
研究概要	(研究目的、意義) 本研究では、腎腫瘍と診断され、治療を受けている患者さんを対象として、腫瘍に関連する遺伝子の構造や機能を調べたり、新たに疾患に関連する遺伝子の変化を探したり、疾患に関係があるかもしれない遺伝子やDNAの個人差を検索します。それにより早期に腫瘍を見つけ診断することで予後の改善を図ることを目的としています。

(研究の方法)

「遺伝子」とは、人間の身体をつくる設計図にあたるものです。腎腫瘍を始めとする「がん」はこの遺伝子に傷がついて正しく機能ができなくなって発症することが明らかになってきました。近年、技術革新が進んだことで、1つの遺伝子ではなく、ゲノム全域の多様性と病気との関わりを調べることができるようになりました。このような研究では、数多くの試料を扱い、高度な解析機器を使用するだけでなく膨大な量の遺伝情報を収集して腫瘍化に関連する遺伝子を見出します。

課題番号倫ヒ44「胸腹部腫瘍の長期治療成績に関する分子生物学的研究」(実施期間2006年3月22日～2020年3月31日) および倫ヒ0273「腎腫瘍に関する遺伝子解析」(2015年6月16日～2020年3月31日) 同意書による同意が得られた検体も、新たな遺伝子解析手法等を用いて解析し、腫瘍化や悪性化に関係があるかもしれない遺伝子やDNAの特性を抽出します。digitalMLPAと呼ばれる腫瘍1細胞当たりのコピー数解析については、解析は本学が実施しますが、本技術の開発者であるMRC-Holland(本社:アムステルダム、オランダ)から技術供与や、データ解析の支援を受けます。

本学ではDNAは個人が特定できないよう番号などでコード化(匿名化といいます)して研究に使用していますが、再度匿名化(二重匿名化)し、解析データを送付し、検体情報は一切送付いたしません。

候補に挙げた遺伝子を対象として、尿中や血液中のがん細胞の変化を捉え早期に診断する手法の開発を目指します。

本研究で得られた成果については、匿名化した情報を学会および学会誌等に発表し、公表します。また、ゲノムコピー数や塩基配列データなど得られた研究結果は日本および国際的な公的データベースに登録します。公的データベースを介して研究結果が研究者に利用されることによって、研究全体が推進され、日本および世界における腎腫瘍の克服のために貢献されることを目指します。

(個人情報の取り扱い)

収集したデータは、誰のデータか分からないように加工した(匿名化といいます)上で、統計的処理を行います。

国が定めた「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に則って、個人情報を厳重に保護し、研究結果の発表に際しても、個人が特定されない形で行います。

**本研究に関する  
連絡先**

兵庫医科大学病院 泌尿器科  
山本 新吾(医師、研究責任者)

TEL | (平日8:30~16:45) 泌尿器科医局 0798-45-6366